

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日までの1年  
 定時株主総会 6月  
 単元株式数 1,000株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 ※単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

公告方法 電子公告 (<http://www.tekken.co.jp>)  
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

<お知らせ>  
 単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主さまは、単元未満株式の買取・買増の請求を行うことができます。詳しくは株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324)へお問い合わせください。  
 ただし、証券会社の一般口座に単元未満株式をご所有の場合には、お取引の証券会社へお問い合わせください。

最新の情報をお伝えしております。

<http://www.tekken.co.jp>



当社は、最新のニュースリリース、各種IR資料など、中間報告書(t-mail)ではお伝えしきれないタイムリーで詳細な情報をウェブサイト上で提供しています。今後、株主の皆さまとの有効なコミュニケーションツールとして活用していきます。どうぞご覧ください。



〒101-8366 東京都千代田区三崎町 2-5-3 Tel.03-3221-2152



[ティー・メール]  
**t-mail**

2011年3月期 中間報告書 2010年4月1日～2010年9月30日



鉄 建

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、皆さまに当社への理解を深めていただきたく、新たに中間報告書を作成し、お届けさせていただくこととしました。

上半期におけるわが国の経済は、海外経済の改善により、ゆるやかな回復傾向にあると言われていましたが、円高や株価の低迷などにより、依然として厳しい状況が続きました。建設業界においては、民間建設投資はやや回復の兆しが見られたものの、政府建設投資は引き続ききわめて低調に推移するなど、経営環境は一段と厳しい状況で推移しました。

当社におきましては、このような経営環境の変化に適切に対応するために、「中期経営計画“2009～2011”」に定めた技術、営業、人材、財務のそれぞれの分野における地力を向上し、鉄道工事をはじめとして、道路、橋梁、トンネル、住宅など得意分野をさらに発展させる取り組みと、環境対策や老人福祉施設、駅ビルなど新たに注力する市場や成長分野への対応を図ることで「ゆるぎない経営基盤」の構築に向けて全力をあげております。

建設業界の今後の見通しにつきましては、建設投資が低水準で推移することは避けられず、当面は厳しい状況が続くものと予想されますが、当社におきましては、価格競争力をさらに強化し、受注と利益の向上、並びに安全と品質確保への取り組みの強化によるお客さまからの信頼の向上に取組み、経営計画の達成に全力をあげてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
橋口 誠之

1. 平成23年3月期 第2四半期の連結業績

売上高

56,355 百万円

前年同四半期 58,949百万円

経常利益

542 百万円

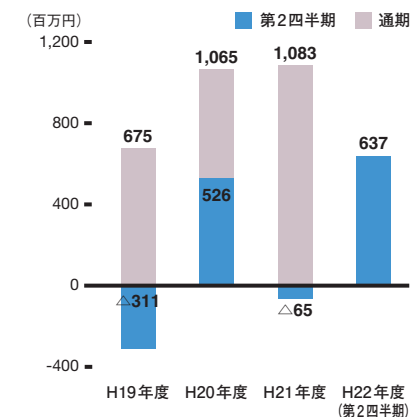
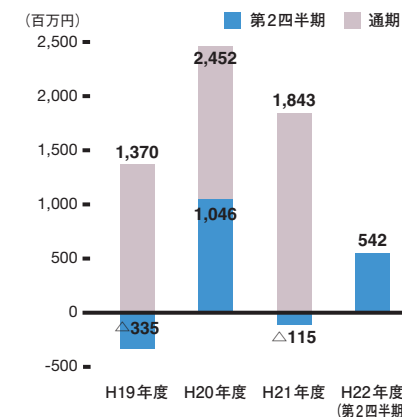
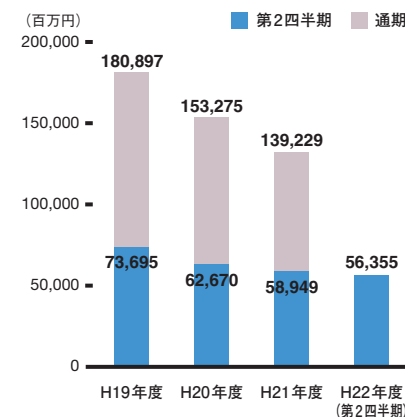
前年同四半期 △115百万円

四半期純利益

637 百万円

前年同四半期 △65百万円

2. 連結業績の推移



当社グループの第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は、通期業績予想の約38%にあたる56,355百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。これは、当社グループの売上高の大部分を占める完成工事高の計上が第4四半期連結会計

期間に集中するためであり、概ね予定どおりの進捗であります。また、損益につきましては、経常利益は542百万円(前年同四半期は経常損失115百万円)、四半期純利益は637百万円(前年同四半期は四半期純損失65百万円)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	96,388	106,712
現金預金	12,140	19,427
受取手形・完成工事未収入金等	62,702	69,100
未成工事支出金	11,892	9,973
繰延税金資産	2,669	2,321
その他	6,982	5,888
固定資産	45,273	47,815
有形固定資産	20,826	20,956
建物・構築物	6,506	6,649
土地	13,769	13,769
その他	549	536
無形固定資産	318	332
投資その他の資産	24,128	26,526
投資有価証券	15,969	18,934
繰延税金資産	6,293	5,634
その他	1,865	1,958
<b>資産合計</b>	<b>141,661</b>	<b>154,527</b>

負債の部

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	91,072	102,555
支払手形・工事未払金等	31,038	39,580
短期借入金	40,353	37,305
社債(1年以内償還予定)	1,340	3,640
その他	18,340	22,029
固定負債	20,944	21,056
社債	4,150	4,820
長期借入金	5,452	4,938
退職給付引当金	8,025	8,023
その他	3,316	3,274
<b>負債合計</b>	<b>112,016</b>	<b>123,612</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,558	27,921
資本金	18,293	18,293
資本剰余金	5,329	5,329
利益剰余金	4,999	4,362
自己株式	△ 64	△ 64
評価・換算差額等	742	2,684
少数株主持分	344	309
<b>純資産合計</b>	<b>29,645</b>	<b>30,914</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>141,661</b>	<b>154,527</b>

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	56,355	58,949
売上原価	52,716	55,444
売上総利益	3,639	3,505
販売費及び一般管理費	3,249	3,586
営業利益又は営業損失(△)	390	△ 81
営業外収益	574	400
営業外費用	422	434
経常利益又は経常損失(△)	542	△ 115
特別利益	282	88
特別損失	36	181
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	787	△ 208
法人税、住民税及び事業税	122	46
法人税等調整額	△ 9	△ 191
少数株主利益	37	3
<b>四半期純利益又は純損失(△)</b>	<b>637</b>	<b>△ 65</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,724	△ 7,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	495	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	574	1,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 132	29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 6,787	△ 7,008
現金及び現金同等物の期首残高	18,927	18,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,140	11,928

Point 1 | 資産の部

資産合計は、未成工事支出金の増加1,918百万円などがありましたが、現金預金の減少7,287百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少6,398百万円などがあり、前連結会計年度末に比べ12,865百万円減少し141,661百万円となりました。

Point 2 | 負債の部

負債合計は、支払手形・工事未払金等の減少8,541百万円、未払金の減少3,177百万円などにより、前連結会計年度末に比べ11,595百万円減少し112,016百万円となりました。

Point 3 | 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少8,541百万円などにより△7,724百万円、投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入500百万円などにより495百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増加2,800百万円などにより574百万円となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ6,787百万円減少し12,140百万円となりました。

## 地域の皆さまとともに

京成日暮里駅は成田スカイアクセスの都心側のターミナル駅として、成田空港線の利便性・快適性の向上ならびに朝夕のラッシュ時の混雑緩和を図るため駅の総合改善事業が進められました。夜間作業が主体となった工事は市街地にも亘るため、地域の方々の生活環境に配慮して、周辺地域の皆さまにできる限りご迷惑をおかけしないよう、低騒音機械の導入や、作業の都度防音カーテンを引くなど様々な対策を施して工事を行いました。



## 地域の方より 感謝状を いただきました

平成15年12月より着工し夜間作業を含み技術的にも量的にも大変な長期に亘る工事でしたが、作業所一丸となって精一杯対応していただきました。工事完了までに町会と工事関係者で63回の連絡会議を行い騒音対策や安全対策等の話し合いをして気遣いをいただきました。夜間の見ることができない工事については作業のデモンストレーションをしていただいたり、実際に現場を撮影したビデオを公開していただいたり、騒音や安全に配慮している様子を実際に見せていただきました。日暮里駅が改良されたことで利便性が上がり世界の玄関口として旅行者が多く集まるようになり、街の活性化にもつながっているのではないかと思います。鉄建さんには安全はもとより地域住民への生活環境に配慮して工事を進めていただきましたので日暮里中央町会を代表して感謝状を贈呈させていただきました。



日暮里中央町会 会長  
金子 守宏 様

### 会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号	鉄建建設株式会社
本社所在地	東京都千代田区三崎町二丁目5番3号
設立	昭和19年2月1日
資本金	18,293,709,398円
従業員	1,782名
グループ企業	テッケン興産株式会社 株式会社ジェイテック

### 役員状況

(平成22年9月30日現在)

取締役		監査役	
取締役会長	神田 志義	常勤監査役	細川 雅司
代表取締役社長	橋口 誠之	常勤監査役	原口 和夫
代表取締役	宇都宮 守	監査役	青木 二郎
取締役	村上 俊博	監査役	佐々木 茂
取締役	堯部 隆夫		
代表取締役	矢野 充夫		
取締役	西川 寛		
取締役(非常勤)	伊藤 泰司		

### 執行役員

執行役員社長	橋口 誠之	執行役員	酒井 彰
執行役員副社長	宇都宮 守	執行役員	嬉野 豊
専務執行役員	川人 達男	執行役員	須長 功三
専務執行役員	福原 久之	執行役員	畔柳 典章
常務執行役員	村上 俊博	執行役員	外山 勉
常務執行役員	堯部 隆夫	執行役員	森澤 吉男
常務執行役員	阿比留 卓雄	執行役員	藤井 義久
常務執行役員	田中 健二	執行役員(非常勤)	石橋 忠良
常務執行役員	矢野 充夫		
常務執行役員	山崎 幹彦		
執行役員	五十子 繁		
執行役員	斎藤 一		
執行役員	大和 修二		
執行役員	西川 寛		
執行役員	市脇 富久男		
執行役員	菊地 眞		

### 株式の状況

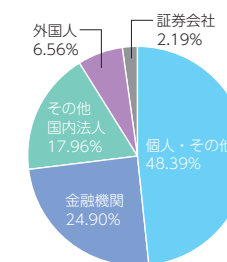
(平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	298,476,000株
発行済株式の総数	156,689,563株
株主数	19,350名

### 大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
東日本旅客鉄道株式会社	15,782	10.07
株式会社みずほ銀行	7,732	4.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,653	4.88
那須 功	7,493	4.78
鉄建職員持株会	5,120	3.27
鹿島建設株式会社	4,700	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,637	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,329	2.12
シービーエヌワイデイエフエイインター ナショナルキャップパリュールポートフォリオ	3,014	1.92
鉄建取引先持株会	2,683	1.71

### 所有株主別の株式数構成比



### 所有株式数別の株主数構成比

